



竹千代賞

からっぽのくつ箱今日から夏休み

神 和 花

【評】 終業式が終わり、教室の自分の荷物を片付け、そして下校しようとしている作者。もう上履きも片付け何も無くなった下駄箱を見て、夏休みと感じている。うれしさのあまり、夏休みと表現したところに若者らしさが現れた。